

平成23年度国立高等専門学校卒業生アンケート調査 調査結果の概要

○目的

現在、高専機構と各学校が一体となって、高等専門学校のあり方、教育活動の充実・改善等について、様々な検討を進めているところであり、国立高等専門学校を卒業された方からのご意見を踏まえ、今後の学校のあり方、教育活動の充実・改善の検討の基礎資料とするため、国立高等専門学校卒業生を対象にアンケート調査を実施する。

○調査対象

全国立高専の本科を卒業した全卒業生を対象として実施。
(各高専の同窓会会報等にて依頼、卒後5年目にあたる平成18年度卒業生については、別途各高専より文書にて依頼。)

○調査結果の概要

1. 回答者の概要

今回御回答いただいた卒業生の内訳は以下の通りである。なお、回答者の出身高専にはバラつきがあるが、これは同窓会の連絡頻度や時期等、依頼周知の影響と考えられる。

表1. 性別及び卒業年次別回答者数 (人、%)

	男		女	
	人数	割合	人数	割合
卒後31年以上	243	98.78%	3	1.22%
卒後21年以上 30年以内	198	97.06%	6	2.94%
卒後11年以上 20年以内	226	90.76%	23	9.24%
卒後 6年以上 10年以内	180	86.12%	29	13.88%
卒後 5年以内	725	84.89%	129	15.11%
計	1572	89.22%	190	10.78%

表2. 回答者の出身高専の地区別人数 (人)

	北海道	東北	関東 信越	東海 北陸	近畿	中国	四国	九州
本科卒業人数	223	139	344	252	206	222	84	292
専攻科修了人数	17	25	50	34	16	34	15	43

表3. 回答者の従事している主な仕事

(人)

	【技術】					【技能】			【専門】		【事務】				【営業】		【その他】		
	開発・設計	生産技術	情報処理・サービスエンジニア	生産品質管理	技術設計監理	その他の技術職	生産技能職	保全職	その他の技能職	教員・研究職	その他の専門職	経理・財務・企画・調査・広報	人事・総務・教育・研修	仕入・商品管理・工程・資材管理	その他の事務	営業・セールスエンジニア	店頭販売	運輸・通信の職業	その他
卒後31年以上	23	12	14	17	16	46	4	0	1	11	3	10	6	6	11	18	1	2	10
卒後21年以上 30年以内	34	22	16	13	8	35	1	1	2	14	4	12	4	4	3	22	0	1	4
卒後11年以上 20年以内	59	13	26	10	12	34	2	4	0	31	6	6	5	1	3	13	1	8	7
卒後 6年以上 10年以内	57	13	20	10	9	22	7	5	3	14	1	2	0	3	5	3	0	6	9
卒後 5年以内	239	67	56	37	28	76	17	34	2	16	7	8	5	4	13	16	1	13	16
計	412	127	132	87	73	213	31	44	8	86	21	38	20	18	35	72	3	30	46

2. 高専卒業生の満足度

大学出身者と比較して、自らに身についた力をどう感じているかについては以下の通りとなっており、多くの項目で大学出身者以上の能力を実感していることがわかる。一方、英語教育については大学出身の方が優れていると実感している。

表4. 高専卒業生による自己評価

(人、%)

	「優れている」あるいは「やや優れている」		どちらともいえない		「やや劣っている」あるいは「劣っている」	
専門科目の基礎力	878	51.3%	705	41.2%	129	7.5%
専門科目の応用力	693	40.5%	805	47.0%	214	12.5%
専門科目の基本技術	868	50.8%	736	43.1%	105	6.1%
人文社会系の一般教養	75	4.4%	799	46.8%	833	48.8%
自然科学系の一般教養	211	12.4%	935	54.7%	562	32.9%
英語力	81	4.7%	571	33.3%	1065	62.0%
論理思考力	509	29.6%	976	56.8%	232	13.5%
問題認識力・解決力	609	35.5%	933	54.4%	174	10.1%
対人交渉力	275	16.0%	949	55.3%	493	28.7%
プレゼンテーション力	401	23.4%	862	50.2%	454	26.4%
コミュニケーション力	297	17.3%	964	56.1%	458	26.6%
創造力	491	28.6%	1051	61.3%	173	10.1%
実践力	768	44.8%	858	50.0%	89	5.2%
協調性	431	25.1%	1064	62.0%	221	12.9%
技術者倫理	522	30.7%	1080	63.4%	101	5.9%

3. 企業等における待遇

近年では賃金に関しては「大学卒と高卒の間」としつつも、昇進の可能性に関しては「修士課程卒あるいは大学卒に類似」として扱う企業が増えてきている傾向がある。

表5. 配属先の部門に関する待遇 (%)

	「修士課程卒」あるいは「大学卒」に類似	大学卒と高卒の間	高卒に類似
卒後31年以上	70.1%	22.7%	7.1%
卒後21年以上 30年以内	68.5%	22.5%	9.0%
卒後11年以上 20年以内	63.5%	27.4%	9.1%
卒後 6年以上 10年以内	53.4%	29.1%	17.5%
卒後 5年以内	60.5%	29.0%	10.5%

表6. 賃金に関する待遇 (%)

	「修士課程卒」あるいは「大学卒」に類似	大学卒と高卒の間	高卒に類似
卒後31年以上	43.1%	50.7%	6.2%
卒後21年以上 30年以内	47.0%	44.5%	8.5%
卒後11年以上 20年以内	41.5%	50.2%	8.3%
卒後 6年以上 10年以内	35.5%	50.8%	13.8%
卒後 5年以内	34.0%	58.2%	7.8%

表7. 昇進に関する待遇 (%)

	「修士課程卒」あるいは「大学卒」に類似	大学卒と高卒の間	高卒に類似
卒後31年以上	57.4%	36.5%	6.2%
卒後21年以上 30年以内	55.5%	35.5%	9.0%
卒後11年以上 20年以内	49.8%	39.8%	10.4%
卒後 6年以上 10年以内	46.0%	38.6%	15.3%
卒後 5年以内	48.4%	42.8%	8.9%

また、卒後3年以内の転職経験者の割合は4.3%、卒後7年以内でも16.6%であった。大学の離職率は約3割であるが、現況として就職でも進学でもない卒業生を加味しても、他の学校種に比べ大幅に低い数値であることから、高専の卒業生は実践教育の結果、就職後の業務にギャップを感じる者が少ないものと思われる。また、卒後5年目以降に転職を行う者が多いという特徴が見られた。

表8. 新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況

卒業	回答者数(人)	転職経験者数(人、%)		(参考) 現況において、就職あるいは進学を選択しなかった方(人)
卒後 7年目	14	4	28.6%	3
卒後 6年目	44	11	25.0%	3
卒後 5年目	288	57	19.8%	14
卒後 4年目	19	0	0.0%	0
卒後 3年目	31	2	6.5%	1
卒後 2年目	28	1	3.6%	0
卒後 1年目	33	1	3.0%	1

※回答者は本科卒業後すぐに就職した者のみ

表9. (参考) 厚生労働省HPより学校種別新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況

学歴	卒業	就職者数	離職率(%)			
			1年目	2年目	3年目	
中学	平成21年3月	1222	64.2	41.5	13.3	9.5
高校	平成21年3月	175,294	35.7	17.2	10.1	8.4
短大	平成21年3月	148,986	39.3	17.1	11.4	10.8
大学	平成21年3月	429,019	28.8	11.5	8.9	8.4

4. 高専教育(全般)について

卒業生が自己評価で身についた、あるいは役に立っていると思うものは全世代を通じて、1位が「専門科目の基礎力」、2位が「専門科目の基本技術」となっていた。また、充実を図るべき教育内容についても全世代共通で1位が「英語力」、2位が「プレゼンテーション力」となっていた。

表10. 卒業生が自分で身についたと思うもの

	第1位		第2位		第3位	
	卒後31年以上	専門科目の基礎力	19.31%	専門科目の基本技術	14.13%	協調性
卒後21年以上 30年以内	専門科目の基礎力	20.23%	専門科目の基本技術	15.93%	協調性	9.27%
卒後11年以上 20年以内	専門科目の基礎力	20.94%	専門科目の基本技術	15.35%	論理的思考力	8.22%
卒後 6年以上 10年以内	専門科目の基礎力	19.53%	専門科目の基本技術	13.59%	論理的思考力	8.18%
卒後 5年以内	専門科目の基礎力	20.52%	専門科目の基本技術	14.50%	論理的思考力	9.22%

表11. 卒業生が役に立っていると思うもの

	第1位		第2位		第3位	
	卒後31年以上	専門科目の基礎力	18.78%	専門科目の基本技術	13.05%	実践力
卒後21年以上 30年以内	専門科目の基礎力	20.00%	専門科目の基本技術	14.15%	実践力	10.46%
卒後11年以上 20年以内	専門科目の基礎力	21.17%	専門科目の基本技術	14.34%	実践力	8.74%
卒後 6年以上 10年以内	専門科目の基礎力	20.23%	専門科目の基本技術	12.54%	論理的思考力	8.70%
卒後 5年以内	専門科目の基礎力	20.65%	専門科目の基本技術	13.15%	論理的思考力	9.10%

表12. 卒業生が教育内容の充実を図るべきと考えるもの

	第1位		第2位		第3位	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
卒後31年以上	英語力	18.95%	プレゼンテーション力	12.68%	専門科目の応用力	7.29%
卒後21年以上 30年以内	英語力	20.84%	プレゼンテーション力	14.36%	コミュニケーション力	5.25%
卒後11年以上 20年以内	英語力	20.23%	プレゼンテーション力	14.02%	コミュニケーション力	3.90%
卒後 6年以上 10年以内	英語力	20.10%	プレゼンテーション力	9.88%	コミュニケーション力	5.96%
卒後 5年以内	英語力	20.58%	プレゼンテーション力	12.12%	コミュニケーション力	6.35%

4-1. 本科での教育について

「専門科目の講義」や「専門科目の実験・実習」に対する満足度が高かった一方で、「英語」や「資格取得」に関する満足度が低かった。また、総合満足度については高いという結果が得られた。

表13. 出身校(本科)の教育内容、学校運営等に関する満足度 (人、%)

	「大変満足している」 あるいは「やや満足している」		どちらともいえない		「あまり満足していない」 あるいは「全く満足していない」	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
専門科目の講義	1360	72.3%	337	17.9%	185	9.8%
専門科目の実験・実習	1424	75.7%	289	15.4%	167	8.9%
インターンシップ(工場実習を含む)	944	57.8%	457	28.0%	233	14.3%
卒業研究	1085	57.7%	454	24.1%	341	18.1%
人文社会系一般科目	493	26.7%	751	40.7%	601	32.6%
自然科学系一般科目	698	38.0%	752	40.9%	389	21.2%
英語	317	16.8%	499	26.5%	1066	56.6%
国語	490	26.2%	822	43.9%	561	30.0%
教育施設・設備	1108	58.8%	507	26.9%	268	14.2%
厚生施設・設備	878	46.8%	636	33.9%	361	19.3%
課外活動	872	47.7%	665	36.4%	292	16.0%
学寮生活	628	51.6%	389	32.0%	200	16.4%
生活相談、生活指導	467	26.8%	932	53.5%	344	19.7%
進路相談、進路指導	809	43.7%	663	35.8%	379	20.5%
資格取得	304	17.4%	650	37.1%	797	45.5%
総合満足度	1337	71.0%	381	20.2%	165	8.8%

4-2. 専攻科での教育について

「特別研究」に対する満足度が高かった一方で、全体的に「どちらともいえない」という評価が増えた。

表14. 出身校(専攻科)の教育内容、学校運営等に関する満足度 (人、%)

	「大変満足している」 あるいは「やや満足している」		どちらともいえない		「あまり満足していない」 あるいは「全く満足していない」	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
専門科目の基礎力	145	60.9%	67	28.2%	26	10.9%
専門科目の実験・実習	139	58.4%	64	26.9%	35	14.7%
インターンシップ(工場実習を含む)	103	51.2%	72	35.8%	26	12.9%
特別研究	167	70.2%	51	21.4%	20	8.4%
人文社会系一般科目	68	28.7%	109	46.0%	60	25.3%
自然科学系一般科目	92	38.8%	93	39.2%	52	21.9%
英語	56	23.6%	78	32.9%	103	43.5%
教育施設・設備	118	49.6%	71	29.8%	49	20.6%
厚生施設・設備	102	43.0%	83	35.0%	52	21.9%
学寮生活	31	27.9%	59	53.2%	21	18.9%
生活相談、生活指導	99	42.9%	84	36.4%	48	20.8%
進路相談、進路指導	94	39.8%	78	33.1%	64	27.1%
資格取得	16	7.2%	136	61.0%	71	31.8%
総合満足度	142	59.7%	80	33.6%	16	6.7%

5. 今後充実させていくべきもの

今後、充実させていくべきものとして「教育内容・教育方法の充実」「国際交流」「教員の質の向上」という意見が多かった。

表15. 高等専門学校において、今後、特に力を入れるべきもの

(人)

	教員の質の向上	教育内容・教育方法の充実	厳格な成績評価・単位認定	教育施設・設備の充実	学科の再編等	専攻科の拡大・充実	国際交流	地域連携・産学官連携	広報活動の充実	その他
卒後31年以上	78	107	44	48	25	55	107	115	43	6
卒後21年以上 30年以内	53	89	25	45	18	58	86	75	42	7
卒後11年以上 20年以内	90	126	50	57	27	41	94	94	60	11
卒後 6年以上 10年以内	81	118	41	57	13	33	86	80	40	5
卒後 5年以内	399	470	181	218	70	117	365	246	136	7
計	701	910	341	425	153	304	738	610	321	36

今後、充実させていくべき学問として「経済学関係」「理学関係」「法学関係」という意見が多かった。

表16. 高等専門学校において、今後、特に力を入れるべき学問

(人)

	文学関係	教育学・保育学関係	法学関係	経済学関係	社会学・社会福祉学関係	理学関係	農学関係	家政関係	美術関係	音楽関係	体育関係	保健衛生学関係	獣医学関係	医学関係	歯学関係	薬学関係	その他
卒後31年以上	24	8	52	111	41	71	42	1	13	10	10	16	4	26	3	17	11
卒後21年以上 30年以内	13	13	45	79	28	64	34	2	2	4	8	10	3	23	1	20	13
卒後11年以上 20年以内	40	16	46	103	37	93	42	1	11	7	7	17	4	27	4	19	5
卒後 6年以上 10年以内	42	23	41	79	31	91	24	5	6	7	11	11	4	26	1	11	6
卒後 5年以内	180	59	171	348	145	341	101	6	34	23	63	29	11	116	16	73	16
計	299	119	355	720	282	660	243	15	66	51	99	83	26	218	25	140	51